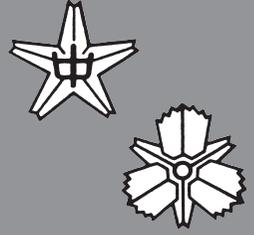


一泉

発行所
〒921-8517
金沢市泉野出町3丁目10-10
石川県立金沢泉丘高校内
一泉同窓会
電話 (076) 242-0211
FAX (076) 216-5656
2018(H30). 3. 31. 発行
E-mail: issen.knz@hotmail.com



泉丘9期の笠原さん宅で発見 100年前の航空写真が届く 一中校舎と運動場はっきりと

約100年前の大正6年、当時の金沢市下本多町の金沢一中上空付近から撮影した航空写真のコピー＝写真＝がこのほど、一泉同窓会事務局に届けられた。写真の持ち主は石川郷土史学会常任幹事で、石川県郷土資料保存研究会常任理事でもある泉丘9期の笠原慎治さん（同市笠舞本町2丁目）。明治から大正にかけて奥能登の輪島町長を務めた曾祖父の笠原有知さんの収集品の中から見つかったもので、同年8月5日、金沢で行われた帝国飛行協会のデモストレーション飛行の記念絵葉書に収められていた。

その様子を北國新聞で調べてみると、同年8月6日付3面に「空中征服の快飛行」との

見出し記事が載っていた。記事には前日の5日、帝国飛行協会の後藤正雄少尉がモーリス・ファルマン式飛行機で出羽町練兵場を離陸し、市内上空を約450メートルの高度で40数分間飛行して無事着陸した。市民の多くが屋根の上で見学したとある。

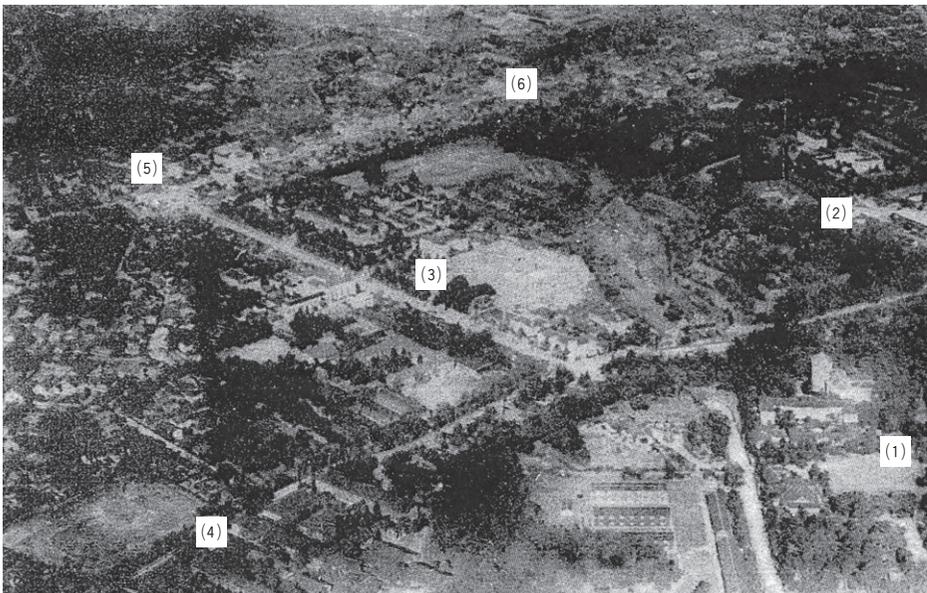
笠原さんは、市民の度肝を抜いた市内上空飛行と、初の航空写真は記念絵葉書に値するもので、手に入れた曾祖父も大切に保管していたのだろうと推測する。

飛行協会の記念飛行で撮影

写真には1から7までの数字が入り、下に「飛行機より見たる金沢市街」として(1)公園(2)旧城内(3)広坂通などの説明がついている。(4)の一中校だけが建物で、他はすべて場所の説明となっている。一中の前には第二女学校、

女子師範学校があり、まだ広場のままの旧県庁跡地の左に第四高等学校も識別できるがなぜか説明がついていない。

一中校舎の棟数ははっきりしませんが、校舎前道路を挟んでの広い運動場（現金沢歌劇座側）も確認でき、貴重な資料と言えますよう。



飛行機より見たる金沢市街

(1)公園 (2)旧城内 (3)広坂通 (4)一中校 (5)香林坊 (6)南町

地区同窓会だより



輝ける伝統の継承を誓う —泉総会124周年も1000人超え

創立124周年記念・平成29年度の一泉同窓会総会・懇親会は創立記念日の10月15日夜、金沢駅前のANAクラウンプラザホテル金沢で開かれた。今年の幹事期・泉丘36期は旧校舎に学び、新校舎を巣立った。その思いから選んだテーマは「輝ける新しい世代への架け橋に」。この呼びかけに参加した一中45期から泉丘65期までの1000人を超える同窓生たちは、輝ける未来に向けて母校の伝統を紡いでいくことを誓い合った。

久々に登場した母校合唱部のさわやかな歌声で幕を開け＝写真上＝、総会の冒頭、清水義博会長（泉丘22期）は「来年は泉丘70周年の節目の年。野球部の甲子園出場を期待したい」と檄を入れ、宮崎栄治校長も「皆さんの後輩は元気です」と文武両道に頑張る後輩たちの様子を報告した。



恒例の担当幹事引継式で36期の北村彰英実行委員長がお礼のあいさつを述べ、来年度の37期・村上啓太実行委員長が「泉丘70周年にふさわしい集いにしたい」と決意表明した。最後に林隆信副会長（22期）の発声で3本締めを行って閉会した。

した一中56期から泉丘41期までの同窓生や学校関係者ら27人が亡き師や級友、先輩、後輩の冥福を祈った＝写真＝。

石浦神社の長谷吉慶宮司が同窓会の幟旗が立てられた厳霜碑に向かって祝詞を奏上、清水義博同窓会会長（泉丘22期）や宮崎栄治校長、今年度総会・懇親会の北村彰英実行委員長（同36期）、来年度の村上啓太実行委員長（同37期）らが順に玉串を捧げた。

今年度の一中関係者は3年生まで一中生で、一高2年生となり、泉丘3年生で卒業した普神貴行さん一人だけが元気に出席された。



物故者 慰霊祭 亡き同窓生の冥福祈る

一泉同窓会の平成29年度物故者慰霊祭が10月15日午後、母校の厳霜碑前で行われ、参列



泉丘36期の北村彰英代表と澁谷英利副代表が11月22日、母校を訪れて宮崎栄治

トピックス

教育環境整備に20万円

泉丘36期が母校に寄贈

校長に「教育環境の整備に役立ててください」と20万円を寄贈した＝写真＝。

さる10月15日、ANA クラウンプラザホテル金沢で約1000人が出席して開かれた、一泉同窓会の必要経費を圧縮して捻出したもので、宮崎校長は「皆さんの後輩たちのために有効に活用する」とお礼を述べた。贈呈式には中村義治副校長(同33期)が同席した。

世代を超えて交流深める

第59回関東一泉、393人が集う

第59回(平成29年度)関東一泉同窓会の総会・懇親会が10月28日、東京・西新宿のハイアットリージェンシー東京で開かれた。生憎の雨天の中393人の参加者が集まり、今年の幹事期・泉丘38期が定めたスローガン「今、再びの出会いへ～君の期は。」に沿って他学年とも交流を深めた。金沢からは清水義博一泉同窓会会長(泉丘22期)、宮崎栄治校長ら7人が出席した。

総会は38期の田地陽一君と北本裕美恵さんの司会で幕開け、北川秀二会長(同30期)の挨拶に続き、役員改選では事業の増大に伴う対応として、土井下健治さん(同36期)と斉藤秀之さん(同37期)の2人の副会長を追加選任した。清水会長と宮崎校長が祝辞を贈り、母校の近況等を報告した。

懇親会は益々健勝な最長老古澤英雄さん(一中42期、100歳)発声の乾杯で幕を開けた＝写真＝。会場には「地酒コーナー」や「協賛先コーナー」が設けられ、故郷の味を満喫しながら会話が弾んだ。恒例のテーブル対抗クイズ大会では、学校付近の航空写真の該当年代を当てる設問に、参加者が真剣に取り組



み、正解を当てたときには各テーブルから大きな歓声、拍手が湧き上がった。

エンディングは応援団エールに続き、一中・泉丘の両校歌を斉唱した。壇上に勢ぞろいした38期幹事団は一中校歌を事前に暗誦、気合を入れて本番に臨んだ。泉丘校歌斉唱は、出席者も渾然一体となった盛り上がりを見せた。38期代表幹事の私・野村のお礼のあいさつに続いて、次年度、第60回を担当する39期比良浄敬代表幹事が決意表明した。最後に山本慎一郎関東一泉同窓会副会長(同30期)の閉会の辞と3本締めにより、名残を惜しみながら散会した。(野村出＝泉丘38期・記)

YUWAKU GUEST HOUSE 金沢湯涌 ゲストハウス

代表 足立 泰夫 (泉丘31期)

〒920-1123 金沢市湯涌町イ52-1
TEL (076) 235-1006 FAX (076) 235-1030
http://yuwaku-guesthouse.com

酒造米精米工場 米穀全般集荷・検査・精米・販売

池 株式会社 池上商店

代表取締役 池上 智久 (泉丘31期)

〒920-0011 金沢市松寺町カ146番地
TEL (076) 237-5810 FAX (076) 237-1372



37回目の「関西一泉」開く 好評のふるさと銘菓の抽選

平成29年度・第37回関西一泉同窓会の総会・懇親会が6月3日午後、大阪市中央区城見のパノラマスカイレストラン・アサヒで78人が出席して開かれた。金沢から清水義博本部長（泉丘22期）や宮崎栄治校長、恩師の菱田浩章先生（同25期）ら6人に加え、今秋の一泉同窓会総会の北村彰英実行委員長ら泉丘36期の7人も特別参加、「10月15日は金沢でお待ちしています」と前宣伝した。

中村嘉克君（同35期）と中村明彦君（同37期）が司会、高橋初枝副会長（同4期）が歓迎のあいさつを述べた。続いて清水本部長、宮崎校長、菱田先生が同窓会活動や母校の近況を紹介した。最年長の太田忠夫さん（一中55期）の発声で乾杯してにぎやかに懇親の宴が始まった。

恒例のふるさと銘菓の抽選コーナーでは今年も岡谷雄二さん（泉丘19期）が名プレゼンターで笑いを誘って好評。最後に一中・泉丘の校歌を合唱＝写真＝、宮本晴江副会長（同13期）の閉会のあいさつで散会となった。

いつものように二次会は北新地の「珠洲」（通信12期の松尾ゆきえさん経営）で行われ、金沢組も出席してもう一度盛り上がった。

椿への思い胸に60人集う 2年ぶりに野々市一泉同窓会

平成29年の野々市一泉同窓会が6月10日、同市の情報交流館カメラ2階のホールで開かれた。2年に一度の開催で総勢60人が出席した。総会に先立ち、日本ツバキ協会野々市支部の高見重任事務局長が椿への思いと今後の夢について講演した。

総会では、司会進行を高橋賢一事務局長（泉丘27期）が行い、田多野和彦会長（同15期）があいさつ、母校の宮崎栄治校長と清水義博一泉同窓会会長（同22期）が祝辞と母校の近況を述べた。

泉丘の校歌斉唱の後、野々市市役所の若手



職員中村洋一さん（同56期）の乾杯の音頭で懇親会が始まった。地域を同じくする先輩と後輩、親友同士の久しぶりの顔合わせに話が弾み、あっという間に1時間半が過ぎ、中村伸一郎副会長（同4期）の万歳三唱＝写真＝で名残を惜しみながら散会した。

また、野々市出身で泉丘44期の米林宏昌監督のアニメーション映画「メアリと魔女の花」の公開が7月8日に迫っており、監督の私設応援団「まる応援隊」の声掛けで応援メッセージを寄せた。（河上純子＝泉丘43期・記）

産科 婦人科

めぐみクリニック

院長 上野浩久（泉丘31期）

〒920-8217 金沢市近岡町345-1

TEL (076) 237-1135

URL <http://www.megumi.or.jp/>

電設工具・機械工具

大谷商事株式会社

代表取締役社長 大谷知幸（泉丘31期）

〒920-0018 金沢市三口町火136番地

TEL (076) 237-5177 FAX (076) 237-7072



若い参加者増え100人に 2回目の「白山一泉」開く

白山一泉同窓会の平成29年度総会・懇親会が11月19日、同市のグランドホテル白山で行われた。対象区域を白山市全域に広めて2回目の開催で、今回は残念ながら一中の諸先輩の出席はなかったものの、市内の企業などに勤める同窓生も交え100名近い参加者となった。

総会では、青木桂生会長（泉丘13期）が「一中の大先輩の姿が見えないのは残念だが、若い仲間の参加が増え大変うれしい」とあいさつした。総会に続いて行われた講演会では、金沢学院大学名誉教授の東四柳史明氏が白山開山1300年記念にちなんで、「白山信仰と石川平野」について講演した。

懇親会では冒頭、一泉同窓会の清水義博会長（同22期）が祝辞を述べ、地元松任地区出身の宮崎栄治校長から母校の現況や生徒たちの頑張っている様子が報告された。最年長参加者の油谷博さん（同1期）の音頭で乾杯し、初めての参加者も含め懐かしい再会や母校の思い出、地域の話に話が弾み会場は大いに沸いた＝写真＝。

最後に一中・泉丘の両校歌を全員で斉唱、

福田裕副会長（同18期）により中締めが行われ、次回参加を誓い合って大盛況のうちに閉会した。（小林亘＝泉丘45期・記）

29回目の三馬一泉同志会

三馬一泉同志会の第29回総会・懇親会が7月3日、金沢市野町4丁目の料理割烹「むとう」で開かれ、出席した12人は母校の思い出話や地域の話に花を咲かせた＝写真＝。

今回も私・北島が司会、田中一郎会長（泉丘8期）が総会で「地域の小さな同窓会だが、29年間も続けてきたことに意義がある。来年はいよいよ30周年。一人でも参加者を増やして盛大に祝おう」とあいさつした。特別参加の中山一郎一泉同窓会事務局長（同10期）は、8月27日の午前9時半から県立野球場で行われる一泉野球部創部110周年記念式典と続く東大野球部と泉丘の交流試合を紹介、6大学リーグ戦で活躍する母校OBの杉本幹太選手（同66期・東大3年）も来てくれる。杉本選



手は有松4丁目の出身で「三馬一泉」だ。皆で応援に行こうーと呼びかけた。

懇親会は角信平さん（同5期）の乾杯発声で始まった。旬の料理を肴に盃を酌み交わし、あっと言う間に予定の時間が過ぎ、大西俊治前会長（同7期）の中締めで名残を惜しんで散会した。（北島敏男＝泉丘8期・記）



医療法人社団

くぼた矯正歯科医院

窪田正宏（泉丘31期）

〒921-8151 金沢市窪7丁目366番地

TEL&FAX (076) 243-4587

http://www.kubota-orthod.com/

金沢ルネッサンス法律事務所

所長 清水雅志（泉丘31期）
弁護士

〒920-0912 金沢市大手町2-24 ダイアパレス大手門8階

TEL (076) 235-3040 FAX (076) 235-3041

先輩と後輩の絆深まる

関東一泉 初の交流会開く

関東一泉同窓会の北川秀二会長（泉丘30期）が提唱する「縦糸企画」（先輩と後輩の絆を深める企画）の第1弾「関東一泉同窓会・第1回交流会」が5月20日、TKP市ヶ谷カンファレンスセンターで開かれた。シンポジウムのタイトルは「人生の教訓～現代を生き抜く糧について」。パネラーは高浪克子さん（同4期）と新谷修さん（同11期・関東一泉同窓会前会長）、コーディネーターは宇野明美副会長（同23期）が担当した＝写真＝。

高浪さんは昭和24年の学校制度改革で、校名が金沢第一高校から金沢泉丘高校になり、授業・教室・生徒会・男女共学・部活動などで初めてのことが多く、戦前との違いを含め当時の様子を興味深く語ったほか、その後の就職経験談から人間関係の大切さを説いた。

新谷さんは母校の教育目標「心身一如」について、心＝知性と理性、身＝感情と情緒は舵とエンジンであり、バランスが重要だと説いた。金大工学部を卒業して東亜燃料工業入社、その後関連会社に出向して国内外のプロ

ジェクトに従事、国際化に触れるなど良い経験が出来た—と話した。組織での対人対応では、挨拶した以上は懐の中に入る、挨拶＝押す、挨拶＝迫るであり、信頼を得るには誉める、叱る（場所をわきまえて、大勢の前はダメ）、感謝する（ありがとう、ご苦労さん）、詫げる（非は素直に認める）ことが重要と述べた。



特別ゲストの古澤英雄さん（一中42期）は、人生は何回失敗してもいいが挫折はだめと論じた上で、自分は今でも①心を感じたことは必ず日記に書く②睡眠は九時間以上③ペンでハガキか手紙を書き、返信を楽しみに待つ—の三つを実践していると話した。

当日は77人もの参加があり、引き続いて懇親会も行われ、盃を酌み交わしながら先輩と後輩の絆が深く結ばれた一日だった。

平成29年度の一泉行列は8月30日、第69回創立記念祭の前日祭として金沢歌劇座から母校までの4.5^{キロ}のコースで行われた。行列には一泉同窓会員約80人を含む500人が参加、一中魂を受け継ぐ泉丘生の元気づりを市民・県民にアピールした＝写真＝。

一中魂伝えて一泉行列



金沢歌劇座前での出発式で清水義博一泉同

窓会会長（泉丘22期）は「昭和12年に一中生たちはシンボルの巖霜碑を大八車に積んで、現在地に新築なった校舎に引っ越した。その道筋をたどることで一中精神を思い起こしてほしい」と行列の意義を後輩たちに訴

えた。泉丘16期の山本武生さんは被り物姿で登場、OB40人と完歩していい汗を流した。

(株)ドキュメントデザイン研究所

代表取締役社長 神 納 守 (泉丘31期)

金沢事業所
〒920-0065 金沢市ニッ屋町8番1号
アーバンユースフルビル2F
TEL(076)233-3761 FAX(076)233-3762

資質保証は、次のステージへ。

REGSYS 株式会社レグシス

代表取締役会長兼社長 玉川 昌範 (一泉同窓会副会長 泉丘31期)

〔金沢支店〕 〒921-8163 金沢市横川7-35-1 ルミエール横川2F
TEL(076)229-7156 FAX(076)229-7232
〔本 社〕 〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-11-2 イトピア岩本町2丁目ビル3F
TEL(03)5835-2423 FAX(03)5835-2424

一中・泉丘 各期の集い①



◆泉丘4期が思い出に残る最後の同窓会

泉丘4期最後の同窓会が卒業65周年記念を兼ねて7月15日の昼、金沢ニューグランドホテルで開かれ、39人が出席して名残を惜しんだ＝写真＝。

藤井修副会長の司会でまず179人（男136人、女43人）の霊に黙祷を捧げ、亡き友を偲んだ。総会後の恒例懇親会は三野裕顧問の乾杯で始まり中村外茂治君の謡曲、長谷川芳子さんの新舞踊に続いて藤岡明彦君が「ガマの油」を熱演、さらに関西代表の木戸上純子さんの熱弁があって大いににぎわった。

遠藤喜代さんの懐かしい昭和の歌声も最後と言うことで、みんなで舞台の内外に入り乱れて大いに歌い踊った。こんなに盛り上がったのは初めてで中締め立つのがもったいないほど。出席者の心に残る同窓会となった。

（坂井治三郎・記）

◆泉丘7期の復活同窓会に29人参加

平成27年6月の同窓会を最後に一旦解散した泉丘7期の復活同窓会が6月2日、粟津温泉の「のとや」で開かれ、「泉丘7期仲良し会」の名のもとに2年ぶりに再会した29人（男18人、女11人）＝写真＝が、「やっぱり同窓会は楽しい」と毎年開催を決めた。

金川琢雄君の司会で代表幹事の私・加茂が遠来組をねぎらい歓迎のあいさつをした。続

トピックス

金沢出身の磯田謙雄技師（一中18期）が、日本統治時代の台湾で築いた農業用水「白冷圳」を取り上げたドキュメンタリー映画が製作されており、今夏に完成する。

白冷圳は1932年に完成、全長17^{キロ}を22カ所のトンネル、14カ所の橋でつなぎ、逆サイホンで溪谷を超え、人々の暮らし

磯田技師（^{18期}）の業績を映画に

に恵みをもた台湾の映画白冷圳と同じ使われている



らした。会社が制作、逆サイホンが辰巳用水でも

撮影が行なわれた。

磯田技師は、台湾で烏山頭ダムを造った八田與一技師の一中、旧制四高、東京帝大の7期後輩。



いて横浜から駆け付けてくれた松本良雄君の乾杯の音頭で酒宴に入った。和気あいあいの中にもブランクの2年間、どうしていたかと尋ね合ううちに予定の2時間がアツと言う間に過ぎた。最後に京都の川向幹男君の中締めで一次会を終えた。会場を変えての二次会も準備したカラオケもそこそこに、やっぱり話に花が咲いた。（加茂正則・記）

医療法人 朋友会 山 口 病 院

院 長 藤 邑 俊 克 (泉丘31期)

〒848-0041 佐賀県伊万里市新天町305番地
TEL(0955)23-5255

はちのへ西脳神経クリニック

日本脳神経外科学会専門医
院 長 真 鍋 宏 (泉丘31期)

〒039-1101 青森県八戸市尻内町鴨ヶ池15-1
TEL(0178)20-8122 FAX(0178)20-8123



◆恒例の関東八泉会に24人集う

毎年恒例の関東八泉会が4月4日、東京・市ヶ谷の「アルカディア市ヶ谷」7階「白山の間」で開かれた。金沢から福田太睦八泉会代表幹事、兼田泉君、私・茶屋勝也の3人が出席、総勢24人が集まった＝写真上＝。

幹事の荒木二夫君と福田代表幹事があいさつ、星野正憲君の乾杯の音頭で懇親の宴が始まった。平田一雄君の司会進行で全員がスピーチ、和気あいあいの2時間半を過ごした。今年は東京の桜満開宣言と一致、会場までの桜並木は見事だった。(茶屋勝也・記)

◆金沢八泉会が傘寿祝い同窓会

泉丘8期が金沢と関東の地域単位に縮小しての初の同窓会・金沢八泉会が10月5日、山代温泉「瑠璃光」1泊で「傘寿祝い同窓会」として行われ、24名が出席した＝写真下＝。

初めに福田太睦八泉会代表幹事があいさつを兼ねて経過を説明、来賓の普神貴行先生の祝辞と乾杯発声で酒宴に入った。前回の喜寿



記念全体同窓会以来3年ぶりの顔合わせで、堰を切ったように会話が弾み、アトラクションの勇壮な「加賀太鼓」にエネルギーをもらい、後半はカラオケに興じて盛り上がった。

最後に東京から参加の荒木二夫君の一本締めで締めくくった。(茶屋勝也・記)

◆関西泉寿会が彦根で総会・懇親会

関西地区在住の泉丘10期生の集い「関西泉寿会」の総会・懇親会が5月29日、琵琶湖の東岸・滋賀県彦根市の「かんぱの宿彦根」1泊で行われた。

1泊の催しは本部金沢と関西支部が2年に1回交互に、つまり10期生としては毎年開いている。今回は関西、金沢、中京エリアのほぼ中間と言う地の利の良さから金沢10人、関西9人、中京3人、関東1人の計23人が参加した＝写真中＝。



このうち約半数は同じ湖東の長浜駅前に集合し、名物「焼きサバそば」で腹ごしらえしたり、秀吉が築いた長浜城の城下町の街並みを散策したりのんびり過ごした。夕方までには彦根に移動し、全室から琵琶湖が見渡せるレイクビューが売り物の宿で旧交を温めた後、宴会場へ。総会、夕食、二次会で深夜まで盛り上がった。

翌日は朝食後自由解散。NHKの大河ドラマ・井伊直虎にもゆかりのある彦根城を訪れるグループもあった。(梅原兼興・記)

NOMURA
PRODUCTS

(株)ノムラプロダクツ

商業施設、公共文化施設及びチェーン展開型店舗などにおける
建築、ビル再生、内装、サインの企画・設計・制作・施工

代表取締役社長 向 隆 宏 (泉丘31期)

〒135-0091 東京都港区台場2丁目3番1号
トレードピア お台場20階
TEL(03)6426-0023

科研製薬株式会社

執行役員 村 上 覚 (泉丘31期)

〒113-8650 東京都文京区本駒込2丁目28番8号
TEL(03)5977-5043 FAX(03)5977-5134



◆関東泉丘11期同期会に23人出席

関東泉丘11期の29年度同期会が5月13日、東京・新宿の三井クラブで開かれた。関東地区在住者80人のうちの21人と、金沢から駆け付けてくれた2人が出席、23人が旧交を温めた＝写真＝。

喜寿を迎えた私達だが、出席出来るだけでもありがたい。欠席者の便りを見ると病気の人が多くなり、中には当人が亡くなった知らせもあって冥福を祈るばかりだった。そんな年齢なのに、恒例の3分間スピーチを聞いていると60年前の高校時代に戻ったような気持ちになるから不思議だ。

私の健康法は散歩と畑仕事。それとポケ防止の作文綴り。歳を取って会話が少なくなると声が出なくなるというので、なるべく人中へ出て話すよう努めている。(徳田智律・記)

◆泉丘14期が旅行や忘・新年会

泉丘14期の十四日会は11月8日、9日に1泊2日で天橋立・京都・近江の水郷地帯を巡るバス旅行を実施、18人が参加して晩秋の旅を楽しんだ。

8日朝、金沢駅前を出発して天橋立へ。朝からの雨も上がって「股覗き」挑戦後は京都へ。夕食は京料理の「美濃吉・四条烏丸店」で山海の珍味を満喫。翌9日は近江の水郷地

帯を回り金沢へ。出発から帰沢までの2日間、バスの中は宴会の連続だった。

また、12月14日には主計町の鍋料理「みふく」で恒例の忘年会。こちらは34人が出席してカキ鍋を堪能した。明けて2月14日は東茶屋街の串焼き「ちょう吉」で24人が集まっての新年会。蚊谷八郎会長の音頭で「今年も大いに楽しもう」と乾杯した。(泉屋利郎・記)

玄楽書道会金沢支部長の書家、川合萃蓉さん(明子・泉丘18期)が5月19日、母校を訪れて古希を迎える記念にと作品2点を寄贈した。宮崎栄治校長は書道教室に飾って生徒たちの励みにしたいとお礼を述べた＝写真＝。

寄贈作品の一つは墨の濃淡と文字配列も絶妙で「耕不盡(耕せど尽きず)我が心田を深く細やかに耕して心を錬磨しようとする願い

川合明子さん(泉丘18期) 書作品2点を母校に寄贈



でなくてはならない」と書かれている。額込みの大きさは縦93センチ、横47センチ。人生

は死ぬまで勉強一という言葉。

もう1点は室生犀星の句「寒竹の芽の向き初日指しにけり」と平仮名文字の得意な川合さんらしく、優しく書かれている。大きさは額込みで縦65センチ、横55センチ。

息子さんの住む東京へ引っ越した川合さんは、母校に自分の作品を受け取ってもらえ金沢での大きな思い出になった—と喜んでいる。

イベントデザイン **オサコー**
OSCo.
ディレクター **長田 充広**(泉丘31期)
〒921-8013 金沢市新神田2-2-19
TEL&FAX (076) 291-3019
E-mail : osada3019@ybb.ne.jp

きよいつ社労士事務所
経営労務研究所(経労研)内
所長 **河村 匡逸**(泉丘31期)
〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-26-4 ドウ・クロイワ5F
TEL (03) 5333-7627 FAX (03) 5333-7659
～おかげさまで創業満20年を迎えることができました～
kawamu@mx2.ttcn.ne.jp

IHI 給油装置特約店
**北陸グリースタ
サービス株式会社**
代表取締役社長 **久保 聡**(泉丘31期)
本社
〒921-8063 金沢市八日市出町88番地
TEL (076) 249-2221(代) FAX (076) 249-8597

「一泉同窓会」誕生の経緯

明治26年に発足した旧制金沢一中に同窓会が結成されたのは同41年だった。約7300名の同窓生を擁する一中が昭和23年の学制改革によって幕を閉じた。その一中の校地・校舎を継承して新制の金沢泉丘高校がスタート、山本外吉校長を会長として泉丘高校同窓会が結成された。「一中」「泉丘」2つの同窓会が7年後の昭和30年2月に合併して「一泉同窓会」が誕生したが、その経緯について当時、母校の教諭だった普神貴行さん（一中56期・泉丘2期）に記してもらった。

普神貴行さん（一中^{56期}泉丘^{2期}）が記す

昭和24年、新制金沢泉丘高校がスタートしたが、当初、県教委の大河良一教育長や山本外吉校長は「泉丘は一中の校舎を継承したが、全く新しい理念に基づいた新鮮な校風・新しい伝統創りをしなければならぬ」と訴え、生徒を交えた熱い議論の末、山本校長を初代会長として同窓会を立ち上げ、同校長が懇意にしておられた金沢大学の大沢衛教授（一中29期）に作詞を依頼、音楽の安藤芳亮教諭の作曲で校歌を作り、新しい同窓会と新しい校歌を軸に新しい伝統を築き上げようと考えておられたようだ。



泉丘に再建された一中生の精神的支柱の「巖霜碑」

新鮮な校風で新しい伝統を 「泉丘」発足時の理念は脱一中

ところが同29年4月頃、山本校長の心境に微妙な変化が見え始めた。初期の高邁な理想の実現には、やはり明治以来の長い伝統の力が必要だということを、当時の全国

の現状から感じ始められたようだ。

一時期、泉丘より二水が上の認識

一方で大学進学競争の機運が全国的に高まり、石川県でも新制高校設立当時の理念が忘れられ、各高校の格付け意識が強まって来た。たまたま金沢では学区制の影響で、市の中心部にあった二水高校が、金大進学で難度の高い学部への合格者数が泉丘を上回ることが多く、世間では泉丘より二水の方が上だという認識があった。ナンバーワンを誇って来た一中同窓生はこのような世間の風聞を面白からず思い始めていた。折から全国的に前身校同窓会との合併機運も盛り上がっていた。

当時、一中同窓会の会長は英安吉氏（一中18期）、副会長は一中で戦中、戦後と長く教頭職だった吉野勝太郎氏（同22期）。この吉野教頭に同期の井口清次郎、四井謙次氏が加

わり活発に活動していた。さらに同期で東北大学の人気教授中川善之助氏が、新制の金沢大学で兼任教授として毎年集中講義に来沢の折には、泉丘で講演したり熱心に同窓会活動を支援された。

巖霜碑の再建も合併に好影響

また、泉丘の校歌の作詞を縁に大沢教授も両同窓会に関心を持ち始め、校医として生徒の歯科検診に当たっていた大沢教授の同期の飯野捨吉氏も長男が一中56期、次男が泉丘4期など4人の息子がすべて同窓生と言うことで強い関心を示された。さらに初めは一中より四高への郷愁と関心の強かった柴野和喜夫知事も、脱一中のトーンを落とし始めていた。

柴野知事一大河教育長一山本校長一大沢教授ら四高志向の泉丘高校の伝統創りの理想主義に微妙な変化が見え始め、昭和29年頃、山本外吉校長の方から一中同窓会への合併への模索が始まった。初めは合併に反対していた泉丘3、4、5期の有志も時代の流れで急速に合併の方向に動き始めた。

また、二つの同窓会の接近に「巖霜碑の

一泉同窓会の
歴代会長

初代会長
英 安吉氏
(一中18期)
S30.2~43.8



第二代会長
宮 太郎氏
(一中51期)
43.8~60.10



第三代会長
渋谷亮治氏
(一中54期)
60.10~H7.10



第四代会長
川北 篤氏
(一中55期)
7.10~11.10



第五代会長
小倉周一郎氏
(泉丘7期)
11.10~16.10



第六代会長
蚊谷八郎氏
(泉丘14期)
16.10~22.10



✓再建」も大きく影響した。一中卒業の戦没者を顕彰するために明治41年10月15日に建立された厳霜碑は、一中生の精神的支柱だった。しかし、敗戦により昭和22年1月、学校によって自主的に撤去された。同28年4月、同窓会関係者は種々協議の末、一中・泉丘の卒業生のみならず広く教職員をも含めた物故者慰霊碑として、泉丘高校敷地内に厳霜碑を再建した。これによって一中同窓生の中に「失わ

生徒の意識と学業成績向上 泉丘に一中の伝統が根付く

れた母校」のイメージを泉丘高校に求める動きがにわかに高まり、二つの同窓会の合併の呼びかけへと発展した。

かくて昭和30年2月13日午後、旧制一中所縁の地本多町の町村会館で両同窓会の合同総会が開かれ、新たに「一泉同窓会」が結成されたのである。初代会長に英安吉氏、事務局



一泉同窓会発足当時の泉丘の旧校舎

長に四井謙次氏が就任した。

合併後は一中の先輩 を招き頻繁に講演会

合併後は英、四井氏を中心に一泉同窓会の中に一中の伝統を顕彰する試みがなされた。厳霜碑もそうだが、かつて彼らが敬愛した一中第三代の久

田田校長、初代の富田輝象校長の銅像の再建、

一中29期の彫刻家・木村珪二氏の三部作「錬成・逆流・久遠」像の顕彰や一中の先輩を泉丘に招いての講演会も頻繁に催され、

後輩泉丘生への刺激と啓発がなされた。荏原製作所創設者の畠山一清氏(一中7期)、中川善之助氏、安田幾久男氏(同25期)、加藤楸邨氏(同30期)、杉森久英氏(同36期)、大河千弘氏(同52期)等の先輩名士が刺激的な講演をした。こうして泉丘に一中の伝統がしっかり根付き、生徒の意識と学業成績も向上して今日に至っている。

特に昭和30年から年に数回、料亭「鏝甚」で四井事務局長が世話人となり、「一泉懇話会」という親睦会が開かれ、これが同窓会有志の世代を超えた結束の核となって「一泉同窓会」が大変な盛り上がりを見せることとなったのである。

第七代会長
清水義博氏

(泉丘22期)
22.10~



大臣許可第16229号

コデラ

株式会社

専務取締役 小寺 悟 (泉丘31期)

〒920-2131 石川県白山市森島町う138-1
TEL (076) 272-0852(代) FAX (076) 273-3675
E-mail : kodera-hon@p2292. nsk.ne.jp

株式会社 歯愛メディカル

Cjメディカル

清水 清人
(泉丘31期)

石川県白山市旭丘2-6 TEL 076-278-8802(代表)
http://ci-medical.co.jp/
【東京ショールーム】 御茶ノ水駅前 瀬川ビル6F
【新大阪ショールーム】 新大阪駅東口 NLCビル1F

特定医療法人 扇翔会

南ヶ丘病院

理事長 宮崎 俊聡 (泉丘31期)
院長

〒921-8141 金沢市馬替2-125
TEL (076) 298-3366(代) FAX (076) 298-9276

一中・泉丘 各期の集い②

◆泉丘16期が2年続きで同窓会

泉丘16期の同窓会が11月12日、金沢ニューグランドホテルで開かれた。2年続いての開催で来賓の楠禎一郎、普神貴行両先生を含め58人が出席した。

昨年11月23日からこの日までに2人の級友が亡くなり、466人の内51人が故人となった。まず小杉俊明君の司会で亡き級友と亡き恩師の冥福を祈って黙祷を捧げた。次いで広瀬清久代表幹事と楠、普神両恩師のあいさつがあり、県外出席者12人を代表して鐺木紘一郎君（神奈川県茅ヶ崎市）が乾杯の音頭を取り酒宴となった。恒例のクラスごとにステージに上がっての近況報告も楽しく続いた。

終盤には応援団の旗振りで応援歌、校歌を高らかに歌い、藤村治憲君（千葉県習志野市）の締めあいさつと手拍子で閉会となった。

（山本武生・記）

◆弦楽四重奏招きおはこ会古希同窓会

第19回おはこ会（泉丘18期）古希記念同窓会が5月13日、金沢駅前のANAクラウンプラザホテル3階の「鳳の間」で開かれた。楠禎一郎先生、普神貴行先生、鍛冶秀雄先生の3名の恩師にご臨席いただき、併せて92名出席の盛大な同窓会となった。

5ホームの後藤忠則君による集合写真＝写真＝撮影の後、アンサンブル金沢の弦楽四重



奏の華麗な演奏で幕を開けた。アイネクライネナハトムジーク、愛の挨拶など5曲が演奏され、格調高い演奏に全員が聴き入った。

楠先生の乾杯の音頭で酒宴に入ったが、その後も中田佳珠さん（泉丘31期）のピアノ伴奏で北山吉明君（12ホーム）がグラナダとカタリカタリの2曲をテノール独唱、声量のあ

る素晴らしい歌声に大きな拍手が送られた。また、級友同士の和やかな語らいの合間にも相撲甚句や木遣りが飛び出した。最後に校歌を全員で歌い、応援団の笠間啓君の「フレー、フレー、泉」のエンで締めくくった。

二次会は同ホテル19階のスカイバンケットアストラルで行い、参加した38名が金沢の夜景とカラオケを楽しんだ。恩師、同級生のこれからの人生が健康で多幸であることを願いつつ解散となった。

（第19回おはこ会代表幹事 新村康二・記）

◆関東おはこ会も古希記念会

第8回関東おはこ会・古希記念会（泉丘18期）の総会・親睦会が11月13日、東京・西新宿のハイアットリージェンシー東京で開かれた。関東圏外からの参加者もあり、総勢30人



が集まって旧交を温めた＝写真＝。

山本星子さん、田川（谷村）久美さん、小関（徳村）彩子さんの女性陣3人が司会を務めた。長元正春会長のあいさつで総会が始まり、役員改選で長元会長が再選された。

続いて三島（渡辺）文夫君の乾杯の音頭で酒宴に入った。余興では今や恒例となった岡田秀樹君が大相撲の遠藤関応援の甚句を披露、吉室誠君のマジックショー、南修治君の自作バイオリンによる演奏、山本さんの日本舞踊と続いて会場は大いに盛り上がった。この後ひとり一人が近況報告、みんな元気で人生を謳歌している様子が分かった。校歌を斉唱、中村祐副会長の閉会の辞で一次会を終えた。

二次会は同じ会場でカラオケ大会となった。原俊道副事務局長が司会、いつもながらの美声が予定時間を超えて続いた。最後に長元会長が「次回は2年後だが、全員が元気で参加してほしい」と結んで閉会した。（深田進・記）



◆泉丘23期女子が初の1泊同窓会

泉丘23期の「花の女子会」が4月16日、「金沢犀川温泉滝亭」1泊で開かれ宿泊21名、日帰り3名の24名が参加した＝写真＝。顔を合わせた瞬間から深夜遅くどころか明け方まで途切れなく話が続き、翌日の名残を惜しんでの解散まで大変な盛り上がりとなった。

当日はくじ引きで宴席を決め、初めは隣同士での近況報告から始まり、次第に全体に話の輪が広がった。クラスの垣根を超えた盛り上がりで泉丘女子の絆の深さと強さを改めて感じた。会場に選んだ「滝亭」はロビーも離れも客室もゆったりと雰囲気満点の宿で、みんな満足の様子。初めての「花の女子会」は大成功で今後も続けて行くことになった。今回は2年後の2019年で、早くも再会が待ち遠しく楽しみだ。(幹事＝前田久美子・記)

◆泉丘36期が総会運営の練習同窓会

泉丘36期の同窓会が8月11日、ANAクラウンプラザホテル金沢で106人が出席して開かれた。今年私たちは創立124周年記念一泉



同窓会の運営幹事のため、そのリハーサルも兼ねて本番と同じホテル会場で受付、会計など当日業務の確認も行った。

角野達洋・源恭子両人の司会で始まり、北村彰英代表による乾杯に続き澁谷英利副代表が幹事グループを紹介、本番に向けての決意を新たにした。途中、これも本番の練習を兼ねたウクレレ演奏が披露されるなど＝写真＝、にぎやかに旧交を温めた。

会場を変えての二次会も92人が出席、立ち飲みが出るほどの盛況ぶり。この盛り上がりでと団結力で本番も十分に楽しんでいただけると確信した。(茶木布美子・記)

◆泉丘40期が10年ぶり2回目同窓会

泉丘40期の2回目同窓会が29年8月13日午後、金沢東急ホテルで開かれた。10年ぶりの



開催で待ち望んでいた116人が出席、旧交を温めた＝写真＝。

初めに物故級友に黙祷を捧げ、代表幹事の私・中佐が歓迎のあいさつをし、来賓の山野之義金沢市長(泉丘32期)の乾杯の音頭で懇親の宴が始まった。恩師の石田毅士郎(同14期)、畠中正樹、瀬戸薫の3先生にも出席いただき、在校時代の思い出話を花を咲かせた。

最後に校歌を斉唱、関東の坂次哲也君が2年後に関東一泉同窓会の運営幹事期となることを報告、応援のため東京での再会を約して閉会した。(中佐訓康・記)



Kanazawa Kiko

金沢機工株式会社

代表取締役 井上英一郎 (泉丘32期)

〒920-0332 金沢市無量寺町ハ38番地2
TEL (076) 266-8001 FAX (076) 266-8002
http://www.kanazawakiko.jp

おかべ歯科医院

歯科・歯科口腔外科

岡部孝一 (泉丘32期)

〒921-8055 金沢市西金沢新町182
TEL (076) 213-8121



◆泉丘46期の初同窓会に124人出席

泉丘46期の初めての同窓会が8月12日夜、金沢駅前のフォーラス内「スタンド・アンド・オアシス」で開かれ、恩師6人を含めた124人が出席して旧交を温めた＝写真＝。

浜本圭也君と夏栗（平野）裕規子さんの司会で始まり、桜町征布代表があいさつ、大阪から来てくれた南元博君の乾杯発声で酒宴に入った。高校卒業以来23年ぶりの顔合わせとあって直ぐに話に花が咲いた。

出席された恩師は能沢正夫、宮崎謙治、梶本逸子、畠中正樹、吉村和人、鬼原直子先生の6人で、女子のクラス代表などから花束を贈り、順にあいさつをいただいた。最後に校歌を斉唱、3年後の再会を誓って閉会した。すぐ近くに場所を変えての二次会にも70人余りが出席、もう一度盛り上がった。

（吉田勝則・記）



◆泉丘50期が卒業20周年で初同窓会

泉丘50期初の同窓会が卒業20周年を記念して8月12日、金沢国際ホテルで開かれた。恩師6人を含め95人が出席した＝写真＝。

初めに代表幹事の私・横田が歓迎のあいさ

つを述べ、続いて10クラスの代表が順にあいさつして声をそろえて乾杯の音頭を取り懇親の宴が始まった。しばらく懇談の後、恩師の北出美千代、菱田浩章、前田一弘、千木一良、中村礼子、岡橋勇侍先生から近況報告を交えてあいさつをいただいた。最後に記念写真を撮り、校歌を斉唱して一次会を終えた。

会場を片町のダイニングバーに移しての二次会にも約50人が参加、思い出話に花が咲いて別れ難く三次会、四次会組もあった。

（横田健一・記）

トピックス

泉丘54期の由水南さんが12月13日夜、テレビ朝日の人気番組「あいつ今何してる」に登場、石川県内偏差値No.1の超名門伝統校として母校の名を全国に知らしめた。

恩師の前田一弘、梶本逸子、同級生で母校教師の笠田菜里さんの3人が、高校時代に演劇、合唱、英語の3部に所属、

ブロードウェイ女優の由水さん(54期) テレ朝の人気番組に登場

全国高校英語スピーチ大会で優勝するなどした由水さんについて、「あの子はすごかった。天才だ。今何しているのだろう」と思い出を語った。



と、カメラはNYのタイムズスクエアをさっそうと歩く由水さんを捉える。1万倍のオーディションに合格、ブロードウェイのミュージカル女優としての活躍が明かされた。生徒会の中山侑香会長も出演、母校紹介に一役買った



おきの内科医院

沖野 惣一 (泉丘32期)

〒929-1173 石川県かほく市遠塚口54番9
TEL (076) 285-2552 FAX (076) 285-2572



舞クリニック 内科 消化器内科

酒井 美智子 (泉丘32期)

〒920-0018 金沢市三口町土377番地
TEL (076) 239-3688 FAX (076) 239-3443

安嶋 彌氏 (やすじま ひさし) 平成29年12月9日、東京都内の病院で死去。95歳。白山市(旧松任市)出身。昭和10年、松任小学校尋常科卒業。石川県立金沢第一中学校(47期)、大阪府立天王寺中学校、旧制第四高等学校(金沢)を経て、同19年東京帝国大学法学部卒。学徒出陣で海軍予備中尉、高等文官試験合格、同21年文部省に入省、同50年文化庁長官、同52年宮内庁東宮大夫、平成元年退官。その後、日本工芸会会長、修養団、前田育徳会、成巽閣の各理事長、日本赤十字社常任理事、学士会副理事長、その他を歴任。松任市市政功労者。日本エッセイストクラブ会員。著書、エッセイ、歌集、詩集など多数あり。

一中、四高、帝大、すべて首席ご卒業で、東宮大夫をなされた安嶋彌大先輩(一中47期)が昨年末ついに、天寿を全うされてしまわれました。小生は私的領域において別格のお引立てとご臈頁、御指導を賜った者です。

東京に67~8年の歴史と伝統、プライドを保つ、北星会という石川県出身、石川県ゆかりの有意の諸先生による活発な懇親会があります。ここで安嶋先生とお会いする事が出来、以来30数年が過ぎました。当時、北星会には同じ金沢一中34期の大大先輩の浦茂先生がおられ、まだ45歳のソニー社員であった小生を推挙して下さいました。浦先生は関東一泉同窓会会長で、全国石川県県人会会長でした。安嶋先生のご下命により、小生は末席の世話人として今も微力で頑張っています。

安嶋先生のご葬儀は、小さなお部屋での家族葬のようではありましたが、天皇皇后両陛下、皇太子殿下、同妃殿下、秋篠宮さま、寛仁内親王妃殿下さまからの御供花や御供えが、祭壇に飾られてありました。昭和天皇のご信任が特に厚く、12年の永きにわたり東宮大夫の重責を果された方は歴史上おられないとおもいます。

出陣学徒として友を失い、敗戦を身をもって体験された先生は、東宮大夫を拝命されたときはどんなご心境お気持ちであったかは今となってはお聴きする事ができません。安嶋先生の父上様が楠木正成がお好きだった事もあり、ご自身も楠木正成の事を歌った“桜井の別れ”が愛唱歌でした。海軍レーダーサイトでB-29を狙っていたこともあり“ラバウル海軍航空隊”がお好きでした。



更に先生は自ら和歌をよみ、詩をつくり、エッセイストクラブの会員として活躍され著作や北星会での卓話はきわめて素晴らしく、ビデオや音声録音をしておいてよかったと思っています。ビデオ等で安嶋先生に会えるからで、当時を思い出し先生の念を、僕らが後世に伝えてゆかねば!と不思議と元気が出て参ります。両陛下や両殿下さまも同じご心境ではと思うところですが…。

東京に居るとふるさとが恋しくなります。金沢一中・泉丘の先輩や後輩諸氏を親や兄弟のように思ってしまうのは小生だけでしょうか。安嶋先生の著「葉桜」や浦茂先生の著「人生遍路80年」、王子製紙社長会長をなされた一中の先輩の河毛二郎先生(43期)の著「逆風順風」など、いずれも素晴らしい名著が一泉同窓会事務局に寄贈保管されています。人間研究として、人生を考える上で“有益且つ貴重なヒント”を得ることが出来ます。お借りして御一読される事をお勧め致します。

東京に居るとふるさとが恋しくなります。金沢一中・泉丘の先輩や後輩諸氏を親や兄弟のように思ってしまうのは小生だけでしょうか。安嶋先生の著「葉桜」や浦茂先生の著「人生遍路80年」、王子製紙社長会長をなされた一中の先輩の河毛二郎先生(43期)の著「逆風順風」など、いずれも素晴らしい名著が一泉同窓会事務局に寄贈保管されています。人間研究として、人生を考える上で“有益且つ貴重なヒント”を得ることが出来ます。お借りして御一読される事をお勧め致します。

安嶋

彌先生を悼む

泉丘16期

吉田艸臣



独立行政法人国立病院機構
金沢医療センター

神経内科 部長 坂尻 顕一 (泉丘32期)

〒920-8650 金沢市下石引町1番1号
TEL (076) 262-4161 FAX (076) 222-2758



医療法人社団光仁会

木島病院

内科医師 副院長 竹内 洋子 (泉丘32期)

〒920-0011 金沢市松寺町子41-1
TEL (076) 237-9200 (代) FAX (076) 237-9202
http://www.kijima-hp.or.jp

文化・運動部 OB 会だより



演劇部 OB が初の同窓会

泉丘演劇部 OB 会初の同窓会が8月21日、金沢市柿木島の割烹「あまつぼ」で行われた。20期から27期までの24名(男14名、女10名)が各地より集合、物故部員に黙祷を捧げた後、野崎外茂次さん(22期)のユーモア溢れるあいさつで開幕した=写真=。

配布された在校時の顔写真を全員胸から下げて入場、卒業以来半世紀ぶりの再会や、先輩後輩としての初対面など様々な出会いで一気に時空超え。初の部同窓会なので昭和20年の部発足、黎明期の貴重な記事や資料から隆盛の歴史、そして偶然にも本会開催に合わせるかのように今年8月7日、18年ぶりに県合同発表会に単独出場した現役部員までの流れを紹介したが、話題はやはり自らの世代、特に中川千絵さん(20期)が創作、22・23期が昭和43年に上演して県優秀賞を受賞した「きけわだつみのこえ」をはじめ、高い評価を受けた各期自慢の上演作品を懐かしんだ。

続いて札木淳司さん(23期)と桜井雅代さん(25期)が参加できなかった12名から届いたメッセージを在校時の写真を掲げながら朗読した。エンディングは山田雄一さん(24期)

の本同窓会開催の裏話披露と、次回への期待を込めたカーテンコールで閉幕した。

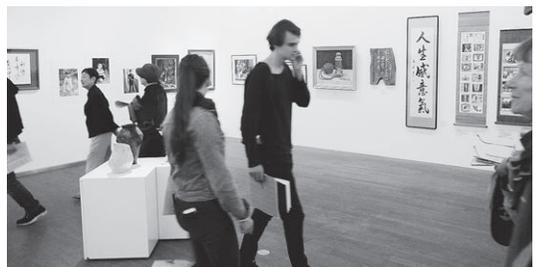
(鳥 伸行=泉丘23期・記)

桜美会美術展は45回目

金沢一中と泉丘高校の卒業生で作る「一泉桜美会」の第45回美術展が10月24日から29日まで、金沢21世紀美術館で開かれ、同窓生や現役生だけでなく多くの県民、市民も鑑賞に訪れた=写真=。

今回は会員43人が作品64点を出品、昨年より会員で8人、作品で9点それぞれ少なかったが、逆に現役生41人が書、絵画、写真作品を43点出品、人数で13人、作品で21点とそれぞれ増えて会場の賑わいに貢献した。

中でも95歳の旧職員・氷田清風先生の書



「長寿盃酌」や、91歳の中51期・朴木春夫さんが昨春、ミャンマーで撮った写真「湖上生活」と「夕景特等席」は年輪の深みを感じ、泉丘6期の日展作家・薄波靖子さんの日本画「天日(てんぴ)〈能登〉」も相変わらずの力量を表していた。また、今回初参加の同18期・竹野茂雄さんの写真「山里の春」など3点も注目を集めていた。

また、41回目の小品展が5月26日から6日間、県立美術館広坂別館で39人の39作品が飾られて開かれ、多くの鑑賞者が訪れた。

(桜美会代表幹事 林昭悦=泉丘17期・記)

金沢美術工芸大学

環境デザイン専攻
教授 鏑

隆 弘 (泉丘32期)

〒920-8656 金沢市小立野5丁目11番1号
TEL (076)262-3531 FAX (076)262-3619
http://www.kanazawa-bidai.ac.jp



医療法人社団浅ノ川

浅ノ川総合病院

副院長
外科部長

中野 達夫 (泉丘32期)

〒920-8621 金沢市小坂町中83番地
TEL (076)252-2101(代) FAX (076)252-2102
URL http://www.asanogawa-gh.or.jp/

母校と東大が交流試合

創部110周年記念 一泉野球部 OB 会が主催

泉丘高校野球部創部110周年記念式典と記念事業の母校対東大野球部1、2年生主体チームの交流試合（一泉野球部OB会主催）が8月27日、県立野球場で行われた。スタンドには約800人の泉丘ファンが駆け付けた。

9時半からの記念式典には宮地治OB会会長（泉丘23期）、清水義博一泉同窓会会長（22期）、山野之義金沢市長（32期）、東大出身の宮崎栄治校長ら6人が出席した。試合に先立ち投手・山野市長、捕手・宮地会長、打者・宮崎校長による始球式が行われた＝写真＝。

泉丘先攻で始まった試合は、泉丘の4番・西尾伊織捕手が3ラン本塁打を放つなど長短25安打で24点を入れ、10安打5点の東大に圧勝した。東大のレギュラーで泉丘66期の杉本幹太選手は5打数2安打で気を吐いた。



勉強と野球の両立で討論

また、前日の8月26日には金沢東急ホテルで「夢をデザインする」と題したパネルディスカッションと泉丘、東大両校選手や野球部OB会員らによる交流パーティーが行われた。

パネルディスカッションは金沢ベースボールクラブの能崎晋一理事長（35期、阪大野球

部、金沢医療センター医師）がコーディネーターを務め、パネラーの日本生命保険相互会社の北村英也さん（42期、東大野球部、元日本生命野球部）、東大野球部助監督の中西正樹さん（大阪・東海大付属仰星高校、東大野球部）、東大野球部レギュラーの杉本幹太さん（66期）、泉丘高監督の寺口結さん（桜丘高校、筑波大、元国際野球U18日本代表コーチ）の4人から東大合格と野球を続ける夢の実現について聞いた。全員が夢の実現には継続と努力が必要と語り、参加した他校の野球部員や父兄たち約500人も納得の様子だった。



トピックス 泉丘高野球部に29年夏、2つの大きな贈り物が届いた。

1つはOBからの最新式ピッチングマシン。従来機種は1球種のみだが、最新式はストレート、スライダー、フォークなど7球種が選べる。

母校野球部に2つの贈り物

もう1つは部員の父兄からで、中古の軽トラック。重りの着いた梯子を引いてグラウンドを素早くならず。運転は寺口結監督の役。

母校ナインは2つの贈り物をフル活用して、30年夏の活躍を誓っている。

中村茂和税理士事務所

中村茂和（泉丘32期）

〒920-0862 金沢市芳斉2丁目9番2号
TEL(076)263-0754 FAX(076)263-0583

金沢老舗百年会員

大松水産株式会社

代表取締役 松本雅之（泉丘32期）

本社 〒920-0905 金沢市上近江町33番地
TEL(076)263-1201 FAX(076)263-2824



泉泳会七士会が総会・懇親会

泉丘高校水泳部OBの7期から11期までの集い「泉泳会七士会」の総会・懇親会が4月19日、辰口温泉の「まつさき」で開かれた。9期の井田（旧姓安田）孟君の呼びかけで毎年集まっているもので、今回は東京、三重県からの仲間も含め10人が参加した＝写真＝。

ローマオリンピックの200^{メートル}平泳ぎで銀メダルに輝いた大崎剛彦君（同期）をはじめ、約60年前に母校のプールで鍛えた面々もすでに80歳前後。大崎君はすでに他界、みんな力を無くしているが、飲むほどに酔うほどに思い出話のボルテージはあがるばかり。北陸の雄「泉丘高水泳部」の懐かしい話は夜遅くまで続いた。

また、昼は近くの白山カントリークラブで5人でゴルフを楽しんだ。

一 泉バスケット 今夏に創部90周年行事

一泉バスケットボールOB・OG会の第3期総会・懇親会が平成29年8月12日にANAホ



日本大学医学部附属板橋病院

病態病理学系臨床検査医学分野
診療准教授 藤岡和美（泉丘32期）
医学博士

〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町30-1
TEL (03) 3972-8111 FAX (03) 5732-1241

リテイイン金沢で約80人が出席して開かれ、30年8月11日に部誕生90周年の記念行事を行うことなどを決めた＝写真＝。

総会・懇親会は2年ごとに開かれ、会員約1000人に総会案内を送付、3000円の会費納入をお願いしている。また、今夏の90周年記念総会には若い会員の積極的な参加を呼びかけている。（高木英良幹事長＝泉丘23期・記）

陸上部OB会は34人出席

平成29年度の泉丘高校陸上競技部OB会総会・懇親会が11月18日、ANAホリテイイン金沢で開かれた。OB33人と母校陸上競技部から中島正宏顧問を迎え、総勢34人が参加し



た＝写真＝。

小泉学幹事長（38期）、土用下和之会長（同）のあいさつの後、事務局より会計報告、中島顧問から母校陸上部の活動状況が報告された。その中で3年生の笹木仁一郎君がインターハイ100^{メートル}で土用下会長以来30年ぶりに県チャンピオンになったことが紹介され、会場は拍手に包まれた。

山下一夫尾山台高校校長（19期）の乾杯発声で懇親会が始まり、旧交を温め、盃を酌み交わした。恒例のリレースピーチでは全員が近況を報告、最後に最年長の4期の上田廣次さんが「長生きの秘訣」について熱弁をふるい、喝采を浴びた。（岡島清＝30期・記）

寺西公認会計士事務所

税理士 光谷尚（泉丘32期）
行政書士

〒920-0867 金沢市長土堀3丁目21番6号
TEL (076) 233-2703(代) FAX (076) 263-6841

投稿二題

長く勤めた乳児院を退職した後も小さな子どもたちと接し続けたいと思い、自宅で小学校低学年と幼児向けの「工作教室」を始めて8年になる。社会福祉士の資格を活かし、保護者の相談に応じたいとの思いもあった。現在は月一回の知的障害者施設と、週二回放課後サービス施設にも行っている。大好きな子どもと遊んでお金がいただけ、「有難くて楽しい」の一語に尽きる。

自宅で楽しい「工作教室」

泉丘14期 新谷 光



先日子ども向け工作教室では、白い紙を細く切って床に貼って道路に見立て、空き箱で作った家や学校、幼稚園などを部屋いっぱい並べて遊んだ。そんな時など子どもたちは家の人のこと、学校での出来事などを話しながら工作に集中しており、後で思い出して嘖き出すこともある。

知的障害者施設には重度の人もいて、何を準備して行っても相手にしてもらえず寝ころ

んだままだったり、逆に私の気を引くために赤ちゃんのように泣く人などいろいろだ。

ある日のこと、細く巻いた新聞紙にビニールテープを巻いて輪っかを作り、ペットボトルの的に向けて輪投げを始めた。と、くだんの寝てばかりの人がすくっと立ち上がって輪投げに興じてくれた。その日は心の底からこの仕事へのやりがいを感じた。

昨年夏からの「週二」の方は、いまだに試行錯誤の毎日だ。「おやつ」後の小1時間が勝負。ある日「小麦粉粘土を作ろう！」

とすることになり、みんなでコネコネ。絵具で色を付けていい雰囲気…。『おっ今日はみんな乗ってるぞ!』。と私もいい気分だ。出来上がった粘土で立派な恐竜を作った子もいればただ投げて遊んでいる子もいたが、うれしい一日となった。

そんなこんなで工作教室は日々のストレス解消の場になっている。どの教室も力まずにのんびりやっいていこうと思っている。



「子曰、吾十有五而志于学。三十而立。四十而不惑。五十而知天命。六十而耳順。七十而從心所欲、不踰矩」。ご存知の孔子の有名な言葉である。泉丘7期の有志が平成14年に設立したのが「耳順会」である。同期の諸勝君と村田静夫君らが世話人となり、男性ばかり12名が集まった。我々の年齢が60半ばであり、孔子の言葉から「耳順」をいただいた。

高齢化社会になって60歳定年制が施かれたのが平成6年、65歳までの雇用が企業に対して努力義務化されたのが同12年であ

「耳順会」から「湧泉会」へ

泉丘7期 廣部 欣也



ったが、多くの企業ではそれより以前に65歳までの雇用確保措置を講じていた。他方、我々が大学を卒業した頃の男性の平均寿命は65歳であったが、今や80歳となり、退職からの余生が長くなった。そんな世の中の状況に合わせるように60半ばだが、老年期を謳歌しようと集まったのは自然な成り行きだったと思う。

会の活動趣旨は特別なことは何もなく、気

投稿二題

の合う者同士で、60半ばにして斗酒尚辞さずという酒好き（あえて酒豪と言うつもりはない）たちが、ただ集まって酒とお喋りを楽しもうと言うだけだ。3カ月に一度どこかの居酒屋で飲み且つ食い、談論風発で氣勢を上げていた。会合が決められた時間に終わることは殆どなく、時には午後6時に始めて終わるのが10時過ぎになることも希ではなかった。

平成24年からは3カ月に一度では淋しいということで、毎月ランチの会を持つようになり、こちらは「湧泉会」と名付けられた。湧泉は校歌の歌詞から拝借したものである。時間が経過する中で3名が故人となり、新たに2名が加わったが、体調を崩す者も出て、今では6～7名の参加になった。両会とも60回を迎えたのを機に発展的に解消し、今年からは改めて「湧泉会」に統合して活動を継続している。

OB 講演会から

先輩12人から進路を学ぶ
29年度「社会人と語る会」

各界で活躍する泉丘高校出身の先輩たちを母校に招いて話を聞き、進路選択の参考にする平成29年度の「社会人と語る会」が11月3日、2年生の普通科生徒360人を対象に開かれた。文科省のスーパーグローバルハイスクール (SGH) 3年目事業の一環で、今年度も12人の先輩たちが後輩たちのためにと母校に参集した。

生徒たちは第1志望、第2志望と話が聞けるため、先輩たちは6、7限目の2回教壇に立ち、パワーポイントなどを使って分かり易く自分の仕事の内容や苦勞、喜びなどを語り、さらに生徒たちに考えてほしいことを「問い」として投げかけた。これに対し生徒たちはグループで話し合い、全体で問題と答えを共有、発表した。最後に先輩から今何をなすべきかが話され、目指す分野に進むための勉強の仕方、大学・学部の選び方にも触れる有意義な機会となった。

講師を引き受けた先輩は次の皆さん。

◆〈公務員・文系〉石川県庁商工労働部グループリーダーの野崎祥一さん (45期) ◆〈公務員・理系〉石川県庁土



野崎祥一さん



田中武志さん



宮前悟さん



大砂雅子さん



北村彰英さん



澁谷英利さん

木部河川課専門員の田中武志さん (51期) ◆ (法律関係) 米澤・宮前法律事務所弁護士の宮前悟さん (36期) ◆〈国際関係〉元ジェットロ韓国ソウル所長、金沢工業大学教授・研究支援機構 産学連携室教授の大砂雅子さん (26期) ◆〈ビジネス I〉北村労務会計事務所副所長・税理士の北村彰英さん (36期) ◆〈ビジネス II〉澁谷工業(株)常務取締役の澁谷英利さん (36期) ◆〈ビジネス III〉(株)日本レストランエンタプライズ執行役員、列車サービス本部アテンド担当の高橋園子さん (34期) ◆〈医療関係 I〉杉森クリニック医師の杉森尚美さん (36期) ◆〈医療関係 II〉エーザイ(株)メディスン開発センターデレクター、医学博士の畠山伸二さん (37期) ◆〈機械・電気・電子系〉日本原子力研究開発機構、戦略・国際企画室研究主幹で工学博士の加藤千明さん (39期) ◆〈建築関係〉浦建築研究所代表取締役社長の浦淳さん (36期) ◆〈化学・コンピューター関係〉(株)アイ・オー・データ機器事業戦略本部企画開発部 IT エンジニアの平林朗さん (36期)



高橋園子さん



杉森尚美さん



畠山伸二さん



加藤千明さん



浦淳さん



平林朗さん

後日、生徒の受講感想文が各講師に送られた。これに対し講師陣からも生徒たちの理解度の速さや洞察力の高さを称え、このように素晴らしい学校を卒業できたことを改めて誇りに思う一との礼状が多く寄せられた。



We can create a sustainable society for future generation.
一般社団法人 MuU(漢字表記:無)MuU=Mutual Understanding

理事長 清水 義博 (一泉同窓会会長) (泉丘 22 期)

金沢市高尾台3丁目127番地 TEL&FAX 076-296-2577

自動車販売・整備

キスモ株式会社

代表取締役社長 林 隆信 (一泉同窓会副会長) (泉丘 22 期)
専務取締役 林 泰三 (泉丘 54 期)

本社 〒921-8043 金沢市西泉3丁目2番1号
TEL (076)280-4455 FAX (076)280-0657

角野裕之君

金子 舜君

新聞部代表
井原康輝君

井上聖翔君

おめでとう

29年度一泉賞

3人と新聞部に贈呈



平成29年度「一泉賞」が3月2日の全日制卒業式の席上2人と1団体に、同4日の通信制卒業式で1人に清水義博一泉同窓会会長から贈呈（賞状とトロフィー、副賞の図書カード1万円分）された。同6年に創立100周年記念事業の一つとして設けられたもので、学業と課外活動を両立させた生徒に贈られる。

今年度の受賞者は次の皆さん。

◆**角野 裕之君** 科学系コンテストに積極的に挑戦し、2年生の時に科学地理オリンピック日本選手権で銀メダルを受賞した。また、「色素増感太陽電池」に関する化学分野の研究を行い、このグループが29年度全国高校総合文化祭自然科学部門の県代表となった。

◆**金子 舜君** 2年生の時に日本地学オリンピック本選で銅賞、科学の甲子園全国大会に出場した。3年生では物理チャレンジで全

国大会に出場するなど目覚ましく活躍し、全国のライバルとも交流を深め、コンテストに挑戦する後輩への指導も熱心に行った。

◆**新聞部 井原康輝君**が部長の新聞部は石川県では27年から3年連続で最優秀賞を受賞、全国高校新聞コンクールでも5位のニコン賞に輝いた。さらに全国高校新聞年間紙面審査賞も6位相当の優秀賞を受賞した。年間発行面数も前年より増やし、いずみの原速報発行も増加、3年間で35号に達し、生徒に身近で信頼できる新聞制作の伝統を維持した。

◆**井上 聖翔君** 人間関係の悩みもあったが通信制に入学してから意欲的に学習。2年生から生徒会活動に参加、3年生では会長として多くの学校行事に責任を持ってかわわり、他のメンバーの信頼も厚い。真面目で礼儀正しく、真摯に取り組む姿勢に好感が持てる。

トピックス

平成29年度の石川県高校総合体育大会（インターハイ）で母校・泉丘は148.5点を獲得、3年連続で総合4位と健闘した。上からの成績順位は金沢学院、星稜、金沢と昨年同様私立高校勢が占め、泉丘の4位は公立高校では3年連続のナンバーワン。全生徒の96.3%がいずれかの部に所属しており、入部率の高さから見ても後輩たちはしっかりと文武両道の伝統を守り、勉強と練習に励んでいる。

泉丘の29年度高校総体成績 総合4位も公立ではトップ

男女別では男子が85点で5位。女子が63.5点で6位。活躍した部は登山部が今年も優勝、男子テニス部が準優勝、同バレーボール部と女子卓球部が3位、陸上部は男女とも4位だった。中でも笹木仁一郎君が100^{メートル}で優勝、200^{メートル}2位で男子をトラック部門の2位に押し上げ、女子も日吉美智さんが400^{メートル}ハードルで優勝して同部門3位と頑張りを見せた。ほかに女子バドミントン部がベスト4だった。



学校法人金沢工業大学

理事長 **泉屋利郎** (一泉同窓会副会長)
泉丘 14 期

〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7-1
Tel. 076-248-1100

カタニ産業株式会社

代表取締役
会 長 **蚊谷 八郎** (一泉同窓会相談役)
泉丘 14 期

本社 〒920-0910 石川県金沢市下新町6番33号
TEL (076) 263-6111 FAX (076) 222-3433

母校だより

母校の大規模改修終わる 3年ぶりに静かな環境戻る

平成26年から始まった母校・泉丘高校の耐震・大規模改修工事が29年暮れですべて終わり、静かに勉強できる環境が整った。

7月末に着工した第四期の管理棟（三階建て）改修工事は屋上の防水、室内照明のLED化、床・壁の補修、トイレの洋式化、暖房用ボイラー2台の更新など。新しいボイラーの導入で教室の暖房効率が良くなった。

26年4月に始まった第一期工事は普通教室棟の耐震壁設置と図書館棟の改修工事。グラウンドに2階建てプレハブ仮校舎2棟・36教室を建て、生徒たちは夏休み前に引っ越し、図書室も仮校舎内に設けられた。また、通信制は金沢中央高校に間借りした。

翌27年7月には第二期の特別教室棟耐震工事が行われ、12月末に完成した。28年1月からプレハブ仮校舎の解体が始まり、グラウンドの修復作業も行われて、4月から野球、サッカーの部活も元に戻った。

同年8月から第三期の啓泉講堂天井落下防止対策工事が行われた。ワイヤーで吊り下げられていた天井パネルを撤去、安全な布製の幕天井に改修された。

拡大カラープリンター寄贈 70期卒業生

平成29年度の卒業生・泉丘70期生(394人)は、卒業記念に拡大カラープリンタ1台と冷水器3台を寄贈した。

プリンターは幅841^{mm}、長さ1189^{mm}までの印刷に対応でき、スーパーサイエンスハイス

クール（SSH）やスーパーグローバルハイスクール（SGH）の研究発表などに活用される。生徒指導課に設置された。

冷水器は3、4、5階の小生徒ホールにある機種が古くなったため更新された。

また、通信制の61期生は65型液晶テレビを寄贈した。高さ90^{cm}、幅146^{cm}、奥行き33^{cm}で映りが大きくてきれい。プロジェクターに変わって授業に活用される。

SGコース 40人の訪米 国際人の視野高める

泉丘高スーパーグローバル（SG）コースの2年生40人は、10月2日から9日まで7泊



8日の日程で訪米。プリンストン大学や同高校などで発表や意見交換を行い、英語によるコミュニケーション能力を高め、国際人に必要な視野やモノの見方を得て帰国した。

研修の初日にニューヨークでブロードウェイのミュージカル女優・由水南さん（泉丘54期）に会い、英語と演劇を織り交ぜたワークショップを行った＝写真＝。3日は国連本部を見学、4日から6日までプリンストン大学や同高校を訪ね、ホームステイでアメリカの家庭生活を体験、7日にはエコビレッジ・イサカ住民と楽しい昼食交流会を行った。

一泉同窓会は文科省指定3年目の同事業に対し、今年度から一泉基金の補助事業に認定して、20万円を寄贈した。



株式会社 **山越**

代表取締役会長 **山越 昭雄**（泉丘11期）

本社 〒920-0001 石川県金沢市千木町ル70番1
TEL: 076-257-9101 (代表)
東京営業所 〒108-0023 東京都港区芝浦三丁目12番6号 国際芝浦ビル7階
TEL: 03-6435-3377

お客様と共に 時代に即した価値向上を目指します



株式会社 **橋本確文堂**

取締役会長 **橋本 勝郎**
（泉丘12期）

金沢本社 〒921-8025 石川県金沢市増泉 4-10-10
TEL: (076)242-6121 FAX: (076)243-7945
東京支店 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-18-12
TEL: (03)5472-7030 FAX: (03)5472-5101

www.mba.co.jp

平成29年度一泉文庫寄贈・購入本

書名	著者	購入・寄贈者
アクタス (2017・4月号) 大学合格ランキング	北國新聞社	購入
リベラルタイム6月号 公立名門高校編	リベラルタイム出版社	購入
週刊朝日 5・19号 「旧制一中」の実力特集	朝日新聞出版	購入
鴿が普通通信 (たづがねつうしん) 3	工藤こずゑ	寄贈・工藤こずゑ
年譜で綴る十一代梅田九榮とその子どもたち	梅田和秀 (元泉丘高校教諭)	寄贈・梅田和秀 (元泉丘高校教諭)
朱木 全国・東京版最終号2017	金沢一中54期同期会	寄贈・金沢一中54期同期会
『聖徳太子』にされた異人	中川昭秀 (泉丘13期)	寄贈・中川昭秀 (泉丘13期)
村上春樹のフィクション	西田谷洋 (泉丘37期)	寄贈・西田谷洋 (泉丘37期)

SSH は米ボストンで研修

平成29年度の理数科・スーパーサイエンスハイスクール (SSH) の米国科学研修は、2年生の34人が参加して8月2日から10日まで8泊9日の日程で行われた。

初日にシカゴからボストンに入り、9日のワシントンから帰国の途に就くまで、ボストン近郊のマサチューセッツ工科大学やハーバード大学で英語による科学授業を受け、ボストン科学博物館や歴史的な所も多く見学した。この間、パインマナ大学の寮に6泊＝写真＝、毎晩のイブニングセッションを楽しみながら語学力を高めた。



一泉同窓会は文科省指定15年になる SSH 事業に対し、一泉基金から毎年20万円の助成を続けている。

母校に3Dプリンター導入

泉丘高校のSSHに29年秋、3Dプリンター＝写真＝とワークステーションパソコンが導入された。3Dプリンターは3次元のデジタルデータを基に立体物が簡単に造形でき、新型パソコンは大容量のデータにも素早く



対応、二つの組み合わせで効果を高めている。

物理部の前田学顧問 (泉丘48期) は「計算ではできないことも、実際に模型を作ると分かることがある。自分の好きなアイデアを自分で形に出来るのが3Dプリンターの良い所だ」と、今後の活用に力を入れている。

活躍する後輩たち

ロボカップ大会で優勝
早速3Dプリンター活用

SSH ロボット部は平成30年1月28日、金沢工業大学で行われたロボカップジュニアオープン大会に出場、サッカーオープン部門など3部門で優勝した。この大会で使用したサッカーロボットには3Dプリンターで作った部品が使用された。

3Dプリンターで双曲面をプリントし、それを基に360度の景色を全て映すことのできる双曲面鏡を作成した。当初、苦労した同部の堀岡勇杜君 (26H) は「とても正確にプリントされ、きれいな鏡を作れた」と同プリンターの威力に驚きの表情を見せる。

同部は3月末に和歌山県で開催された全国大会に出場した。

東大に21人、京大に26人合格^(29年度)

東大、京大など国公立大学の平成29年度入試前期合格者が3月10日までに発表され、母校・泉丘高校から東大に21人（現役11人）、京大に26人（同17人）が合格した。東大の合格数21人は過去最高。また、京大の現役合格者の内1人は特色入試による合格である。

難関2大学の合格者数を他高校と比べてみると、金大附属（東大10人、京大1人）、富山中部（東大16人、京大4人）を圧倒的に上回った。

その他の難関国公立大では、阪大24人、神大16人、東北大、北大各15人、名大12人、九大6人、東工大4人、一橋大1人が合格した。

なお、金大には74人（現役56人）が合格、うち医学部医学科は13人（同8人）だった。医学科全体の合格者は20人（同10人）で、このうち東北大に1人、名大に1人（過年度生）が合格し、全体で昨年より7人も多くなった。



泉丘高1年生が世界へ 火星移住計画コンテスト

泉丘高の1年生グループが、米コンピューター大手「ヒューレット・パカード」など主催の都市計画コンテスト「火星100万人移住計画」の日本大会で東大生チームをしのぐ3位に入り、世界大会進出を決めた。昨年12月、東京都内で開かれたコンテストには104チームが出場、泉丘生のコンパクトシティと太陽光電池の独創的な提案が評価された。第二ステージには9チームが進出した。

「プロジェクトマーズ」と名付けられたコンテストに出場したのは長谷川愛さん、松本

悠汰君、酒井諒太君、谷口千尋さん、松木拓海君の5人＝写真左から＝で、男子3人は物理部、女子の2人は有志参加。

コンテストでは100万人規模の火星移住を想定してインフラ設計に取り組み、「人工時差」でグループに分かれた世界の移住民が生活リズムをずらして共用する都市と、効率的な電気エネルギーの供給をコンセプトとした。

移住民は人工的に昼夜を生み出す居住スペース6カ所と中央に公共スペースを持つビル型都市で生活、居住スペース3カ所に8時間ずつの時差を設け、24時間稼働する学校などの公共施設を共用して施設の重複を減らし、省資源化を図る。また、都市に必要なエネルギーは針状の太陽光電池を提案し、針葉樹型太陽電池で発電効率を高める計画。

現在、3D画像で都市コンセプトを発表する第2ステージに挑戦中。4月の最終ステージに向けて、準備をすすめている。

〈編集後記〉

昨年暮れに関東一泉同窓会から「縦糸企画の第2回交流会・講演会」の様子が届いた。北川秀二会長（泉丘30期）が一昨年秋の就任時に提唱した同窓会の縦糸・横糸交流企画の一環である。

縦糸交流とは期を超えた先輩・後輩の交流機会を設けることで、関東一泉同窓会や地区同窓会、講演会・学習会などであり、横糸交流は同期会を指す。

各界で活躍した先輩を迎えての講演会からは仕事の仕方、人間関係から人生訓まで学べ、終了後の小宴会も情報交換や異業種交流の場になりつつある。

北川会長は縦糸交流の中から新たな人材を発掘、母校へ紹介・派遣して学習向上や人間教育に役立つようにと思いを膨らませている。大いに期待したい。(N)

「一泉」編集室

中山一郎(泉丘10期) 浅香以都子(同10期)
小林弘子(同12期)

題字・普神貴行(一中56期・泉丘2期)